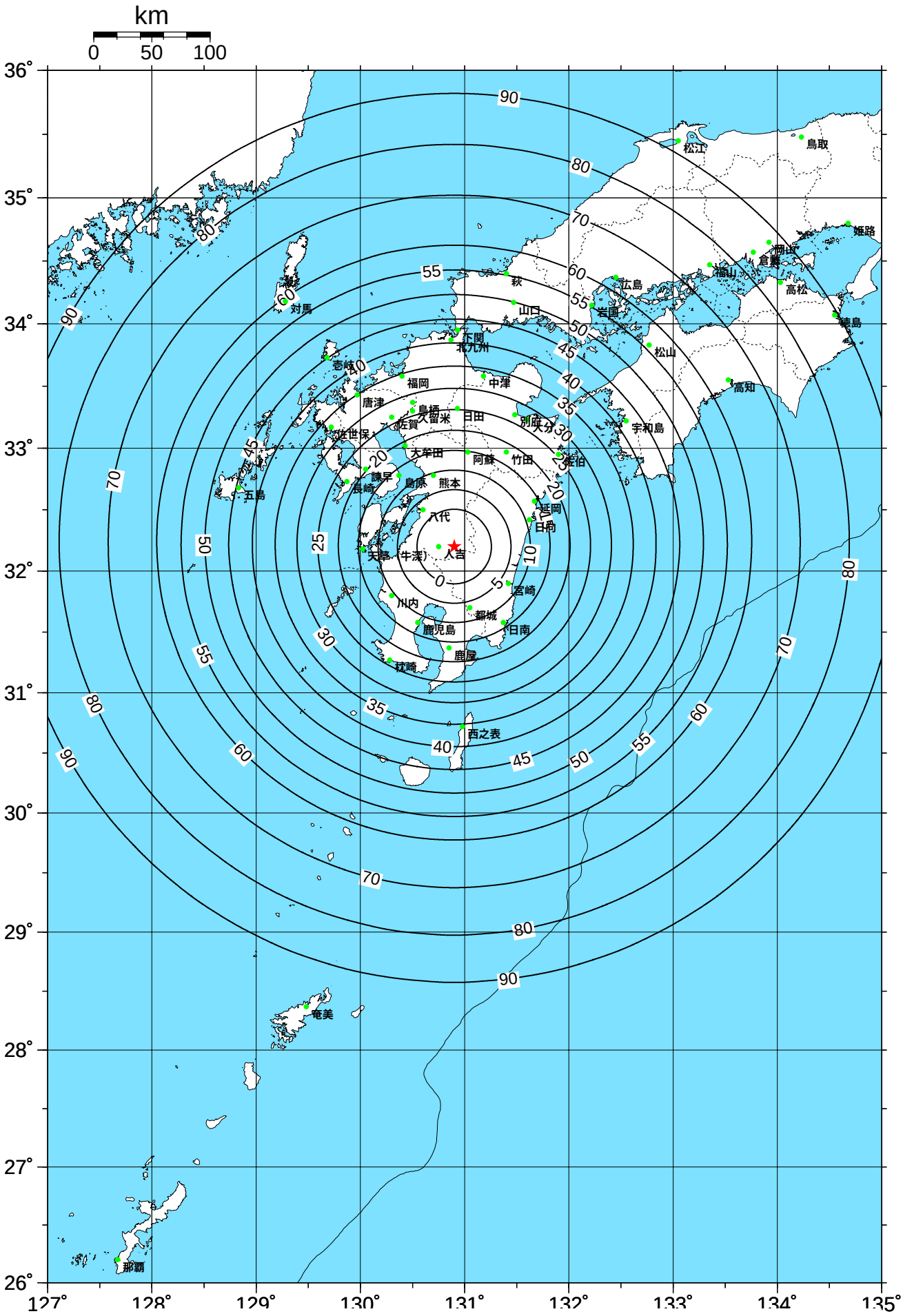

本図は、想定震源の座標（緯度・経度・深さ）を与え、最寄の観測点で地震波を検知した後、５秒後に緊急地震速報を発信したと仮定して、主要動到達までの猶予時間を描画したものである。なお、本図は理論計算値に基づくものであるため、実際の地震の場合はこれと異なることに留意が必要である。